

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 美 術

調査研究報告書

(小委員会名： 美術)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>○第1回教科用図書調査委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・6月19日(金) 釧路教育研究センター・教科用図書調査研究要項及び日程について・美術科小委員会調査研究日程について <p>○第1回教科用図書調査委員会美術小委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・7月6日(月) 釧路教育研究センター・調査研究意見交換
2. 調査研究の具体的資料	<ol style="list-style-type: none">1 教科書編修趣意書2 採択参考資料3 学習指導要領解説
3. 少数意見等	<p>【少数意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・防災教育の考えと復興を願う作品の掲載。・LGBTを取り上げた題材の掲載。・大きさは、開隆堂と日文がA4ワイド判、光村がA4判である。・映像を使った題材が多用されている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・多方面で活躍している人々が掲載されていて、美術で学んだことがキャリア教育への学びにつながる。・光村は巻末の資料が充実している。・光村の谷川俊太郎の詩「うつくしい」が美術への興味のきっかけにつながる。・開隆堂と光村は第2・3学年の教科書が1冊になっていて使いやすい。・日文の鑑賞教材である見開き屏風が実際に折れて立てることができ、屏風の形状がわかりやすい。また、鑑賞教材の浮世絵は見応えがある。・開隆堂は生徒作品が多く、生徒が制作する際の参考にできる。・開隆堂はQRコードのコンテンツが充実している。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・701 美術・801	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承
取扱内容	<p>○絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近にあるものや自然の造形をよく観察して描いたり、人や動物の動きや姿を観察し特徴をとらえ描いたり、立体に表したりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>第2・3学年～ 自分自身を内面から見つめ直し、今の自分を表現する自画像を自分らしい表現方法で表したり、夢や想像の世界を表現したり、形や色彩の効果を生かした抽象的な表現を工夫したりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて自分の表現方法を追求し、表現の意図と創造的な工夫を独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>○デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものの美しさや使いやすさを考え、形や色彩を工夫したデザインを考えたり、紙や土、木などの材料の特徴を活かした生活用品をつくる活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて表現方法を工夫し、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどを考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>第2・3学年～ 自分自身を内面から見つめ直し、今の自分を表現する自画像を自分らしい表現方法で表したり、夢や想像の世界を表現したり、形や色彩の効果を生かした抽象的な表現を工夫したりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて表現方法を追求し、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどを独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>○鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身のまわりにある道具や生活用品のデザインについて考え、話し合う活動を通して、美術を愛好する心情を培い、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げる。</p> <p>第2・3学年～ 日本の美術が持つ日本らしさを感じ、日本の美術が西洋に与えた影響について話し合う活動を通して、美術を愛好する心証を深め、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。</p> <p>○〔共通事項〕については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 鉛筆や絵の具、切る、削る道具の使い方や表現方法を工夫する活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</p> <p>第2・3学年～ 伝えたい内容を形や色彩、材料の性質を工夫し形や装飾などに表現する活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

<p>排内 列容 の 分構 量成 等・</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 生活を楽しくする工芸品を制作する題材において、紙や焼き物、木材などの材料や方法を選ぶなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習することができるような工夫。</p> <p>第2・3学年～ わかりやすく伝えるデザインの題材において、ピクトグラムやポスター、パッケージデザインなどを選択するなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習することができるような工夫。</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「絵や彫刻など」は16ページ、「デザインや工芸など」は14ページ、「鑑賞」は14ページ、資料が23ページであり、総ページ数は67ページで、前回より16%増となっている。</p> <p>第2・3学年～ 「絵や彫刻など」は24ページ、「デザインや工芸など」は26ページ、「鑑賞」は34ページ、資料が39ページであり、総ページ数は123ページで、前回より14%増となっている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で「暮らしに生きる美術」として、美術で学んだ力を生かして社会で活躍している人たちを紹介している（第2・3学年）。 ・「型から生まれる形」の題材で、アイヌ民族の伝統的な文様の「ルウンペ」を示すなど、北海道に関する作品などを紹介している（第2・3学年）。 ・空間を意識した抽象彫刻の表現題材で、札幌駅のパブリックアートを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている（第2・3学年）。 ・巻末で、発想のための「学びの資料」として、まとめのための資料や表現のための技法などを紹介している（全学年）。 <p>○主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に話し合ったり検討し合ったりする題材のポイントとなることをマークや囲みで示している（全学年）。 ・生活を豊かにするデザインや工芸に関する題材など、実生活と関連した内容を位置付けている（全学年）。 ・題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている（全学年）。 <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントの採用や漢字すべてにルビを記載などインクルーシブ教育への配慮（全学年）。 ・用具の取り扱いなど、作品をつくる上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示している（全学年）。 ・関連して学習することができる他教科の内容をマークや囲みで示している（全学年）。 ・QRコードから、題材の資料や安全に学習するために必要な道具の正しい扱い方など様々なコンテンツを観覧することができる（全学年）。
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○鑑賞では、原寸大の図版や部分拡大した作品が多く掲載され、鑑賞の視点を広げたり、生徒の表現に生かしたりすることができるように工夫されている。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年 第2・3学年	美術・702 美術・802	美術1 美術2・3
取扱内容	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものや身近な風景、身近な人のしぐさや雰囲気などを絵や立体に表す活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>第2・3学年～ 見方を変えて観察したものや、空想の世界や想像の生物など、対象や事象を深く見つめ、感じ取ったこと、自己の内面、願望、感情などを表す活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて自分の表現方法を追求し、表現の意図と創造的な工夫を独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 楽しく伝える文字のデザインや生活に役立つ器を作る活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて表現方法を工夫し、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどを考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>第2・3学年～ 多くの人に思いが伝わるように絵や文字を組み合わせるポスターやピクトグラムをデザインしたり、日用品や公共空間の機能や美しさの調和を考えたりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて表現方法を追求し、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどを独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然の美しさを取り入れた日本の美術作品の味わいについて話し合い活動を通して、美術を愛好する心情を培い、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げる。</p> <p>第2・3学年～ 西洋と東洋の作品を比較し、特徴や相違点について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品などについての見方や感じ方を深めたり、美術を愛好する心証を深め、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。</p> <p>○ [共通事項] については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 野菜など身近にあるものの特徴を感じ取り、木や粘土で本物らしく表す活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質やそれが感情にもたらす効果などを理解する。</p> <p>第2・3学年～ 光の効果を考え、材料の特徴を生かして使う人や設置する場所にあうあかりを考え、それらが感情にもたらす効果を理解する。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

<p>排内 列容 ・の 分構 量成 等・</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや表現の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>第2・3学年～ 「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「生活をいろいろの文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「絵や彫刻など」は16ページ、「デザインや工芸など」は16ページ、「鑑賞」は16ページ、資料が33ページであり、総ページ数は81ページで、前回より19%増となっている。</p> <p>第2・3学年～ 「絵や彫刻など」は24ページ、「デザインや工芸など」は16ページ、「鑑賞」は30ページ、資料が35ページであり、総ページ数は105ページで、前回より－1%増となっている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の生徒の制作過程が「みんなの工夫」として掲載されており、発想・構成から作品完成に至るまでの授業の流れが分かりやすくなっている（全学年）。 ・様々な地域の美術文化の鑑賞題材で、伝統的なアイヌ文様を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている（第2・3学年）。 <p>○主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目標が明記されている（全学年）。 ・題材の中で適宜、伝統文化を取り上げるなど、自分にとって身近な伝統工芸などを学ぶことができる（全学年）。 <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色覚特性への配慮など、全学年全ページにわたり、全生徒が学習活動に支障をきたすことがないように配慮されている（全学年）。 ・特別支援教育への配慮として、図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりするなど、境界線を明確にしたり、文字が小さくなる場合はUDフォントを使用するなどの配慮がされている（全学年）。 ・弱視の生徒の学習上の負担を減らすために、より読みやすい文字の大きさや書体、図版で教科書の内容を損なわないように構成されている（全学年）。 ・著作権や肖像権に十分配慮することを注意喚起のマークと共に示すなど、肖像権や知的財産権への配慮がなされている。 ・道徳科や社会科など、他教科とのつながりを意識したコラムが設けられている。 ・QRコードから、技法動画や音声ガイド、全国の生徒作品など様々なコンテンツを閲覧することができる。
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者や免許外で美術科を指導する教諭も指導がしやすいよう、題材毎に授業の流れが分かりやすく表記されており、巻末にたくさんの資料があるなどの工夫がされている。 ・「鳥獣人物戯画」は、より本物に近い感覚で見ることが出来るよう、図版の見せ方や紙質に工夫がされている。また、「最後の晩餐」を鑑賞する題材では、トレーシングペーパーを閉じこみ、一点透視図法などの作者の表現の工夫を書き込めたり、関連性の高い作品に関してはひとつの題材として扱い、比較して鑑賞ができるようにするなど、実感的に理解でき、学びが深められるようになっている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年 第2・3学年上 第2・3学年下	美術・703 美術・803 美術・804	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの美感和広がり 美術2・3下 学びの探求と未来
取扱内容	<p>○絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な人物の表情やしぐさから、表現方法を工夫してその人らしさを絵に描いたり、身の回りにある木や石などの材料の形や色の特徴を生かして動物をつくる活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>第2・3学年～ 見る視点や角度を変え、発見や瞬間を切り取ったものを撮影したり、人の躍動感や緊張感が伝わるように立体に表したりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて自分の表現方法を追求し、表現の意図と創造的な工夫を独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>○デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものの形や色彩の特徴を単純化して構成し、模様を考えたり、焼き物や木などの特性を生かして暮らしの中で使うものをつくったりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて表現方法を工夫し、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどを考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>第2・3学年～ 使う人の立場や気持ちを考えて、暮らしが豊かになるデザインを考えたり、木や革、金属などの材料の特性や機能性を考えて生活に役立つ工芸品をつくったりする活動を通して、対象や事象を造形的な視点で捉え、意図に応じて表現方法を追求し、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどを独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し表現する。</p> <p>○鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 『燕子花図』を実際に折ったりしながら、日本の美術作品のよさや美しさについて話し合う活動を通して、美術を愛好する心情を培い、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げる。</p> <p>第2・3学年～ 社会の中で見られるデザインの工夫や美術の働きについて話し合う活動を通して、美術を愛好する心証を深め、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。</p> <p>○〔共通事項〕については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 野菜など身近にあるものの形や色などの特徴を感じ取り、木や粘土で本物らしく表す活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>第2・3学年～ 商品の中身の特徴からイメージを広げ、形や色、光の屈折や見る角度などを工夫してパッケージに表す活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

<p>排内 列容 の 分構 量成 等・</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 巻末のページにおいて、水彩絵の具のパレットの使い方や技法、彫刻刀の種類や彫り方の種類を示したり、電動糸のこぎりの使い方を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p> <p>第2・3学年～ 伝統的な染め物をつくる題材において、アイヌと沖縄の型を使った衣服を比較したり、自然の材料や絵の具を使う染めの工程を紹介したりするなどの知識・技能を習得する活動</p> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「自然の美しさから生まれた」の題材において、蜂の巣のハニカム構造や幾何学的な雪の結晶を紹介し、理科や数学など、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 工芸品の題材において、表したい内容に応じて、陶芸や篆刻を選択するなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習することができるような工夫。</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「絵や彫刻など」は16ページ、「デザインや工芸など」は16ページ、「鑑賞」は16ページ、資料が27ページであり、総ページ数は75ページで、前回より25%増となっている。</p> <p>第2・3学年～ 「絵や彫刻など」は26ページ、「デザインや工芸など」は24ページ、「鑑賞」は30ページ、資料が46ページであり、総ページ数は126ページで、前回より17%増となっている。</p>
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、著名な作家の制作過程におけるノートやスケッチを紹介している（第1学年） ・「折って、切って、巻いて」の題材で、アイヌ文様の切り絵を取り上げるなど、北海道に関する作品を紹介している（第2・3学年）。 ・暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている（第2・3学年）。 ・生活や社会に結びついた美術を扱う題材が多く掲載されており、教科等を横断的に学び、深めることができる構成となっている。 ・「学習を支える資料」として巻末資料が充実しており、材料や用具、技法、形と色彩など中学生が取り組みやすい具体例を示しながら分かりやすく説明されている。 <p>○主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習しやすいよう、主題を練るときに、どのような思考や視点で表したいものを見つければよいか、また主題を表すためにどのような工夫を講じたか、制作過程をわかりやすく紹介している（全学年）。 <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「学習を支える資料」として色で示している（全学年） ・道徳科との関連が分かりやすく示されている（道徳マーク）。 ・カラーユニバーサルへの配慮、題材名と主文はUDフォントを使用している。 ・特別支援教育の専門家による校閲がなされている。 ・QRコードから、学習を深めるためのコンテンツを閲覧することができる（全学年）。
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2・3学年上」の「浮世絵はすごい」では、より現実に近い図版で鑑賞活動が行えるよう、特色インクと高精細印刷を用い、色味や細部の彫の再現を行っている。 ・鑑賞作品が原寸大で示されている